

2025 年 3 月 18 日
株式会社日本政策金融公庫

米をはじめとした農産物価格の上昇等を背景に、農業景況DIが大幅に上昇 ～ 生産コスト高は継続、畜産を中心に引き続き景況が厳しい業種も ～

＜農業景況調査（令和7年1月調査）＞

日本政策金融公庫農林水産事業は、融資先の担い手農業者を対象に「農業景況調査（令和7年1月調査）」を実施しました。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

＜農業景況 DI（令和6年実績、令和7年見通し）＞

- 令和6年の農業景況 DI（10.5）は、令和5年実績から 37.4 ポイント上昇し、5年ぶりにプラス値に転換しました。業種別では、特に稲作（北海道：64.8、都府県：50.8）で大幅なプラス値となりました。一方、酪農（北海道：▲28.2、都府県：▲29.7）、肉用牛（▲37.7）ではマイナス幅が縮小するものの、引き続きマイナス値が継続する結果となりました。
- 令和7年の農業景況 DI の見通し（7.6）は、令和6年実績から 2.9 ポイント低下するものの、プラス値が継続する見込みとなりました。

＜販売単価 DI（令和6年実績）＞

- 令和6年の販売単価 DI（47.2）は令和5年実績から 36.6 ポイント上昇し、プラス値が拡大しました。業種別では、特に稲作（北海道：85.9、都府県：89.1）、養豚（62.7）で大幅なプラス値となりました。

＜生産コスト DI（令和6年実績）＞

- 令和6年の生産コスト DI（▲79.4）は、令和5年実績から 5.2 ポイント上昇するものの、依然として大幅なマイナス値が継続する結果となりました。また業種別でも、全業種で大幅なマイナス値となりました。

＜設備投資予定＞

- 令和7年に「設備投資予定あり」とする比率（52.0%）は、令和6年から 3.1 ポイント上昇しました。耕種では稲作（都府県：64.6%）が最も高くなりました。畜産では養豚（56.7%）が最も高くなった一方で、酪農（北海道：37.5%）、肉用牛（33.0%）では4割を下回りました。

注：DI（Diffusion Index＝動向指数）とは、前年と比較して「良くなった」とする回答の割合から、「悪くなった」とする回答の割合を差し引いた値で、上向き、下向きといった方向感を捉える指標。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

農業景況調査（令和7年1月）

～農業の景況について～

○調査概要

- 調査時期：令和7年1月
- 調査方法：往復はがきによる郵送アンケート及びインターネット併用調査
- 調査対象：スーパーL資金又は農業改良資金等のご融資先のうち21,012先
- 有効回答数：6,889先（回収率32.8%）

（内訳）

稲作（北海道）：681、稲作（都府県）：1,709、畑作：639、露地野菜：732
施設野菜：594、茶：101、果樹：396、施設花き：181、きのこ：63、
酪農（北海道）：302、酪農（都府県）：253、肉用牛：467、養豚：212、
採卵鶏：120、ブロイラー：73、その他：366

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部（担当：高田、垣尾）TEL：03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

農業の景況(景況DI、収支DI)

- ・令和6年の農業景況DI (▲26.9→10.5)は令和5年実績から37.4ポイント上昇し、5年ぶりにプラス値に転換。業種別では稲作(北海道:▲49.3→64.8、都府県:▲22.1→50.8)で大幅なプラス値となった一方、酪農(北海道:▲56.8→▲28.2、都府県:▲45.7→▲29.7)、肉用牛(▲52.1→▲37.7)はマイナス値が継続。
- ・令和7年見通し(10.5→7.6)は令和6年実績から2.9ポイント低下するも、プラス値が継続。
- ・収支DI(▲32.1→7.5)は令和5年実績から39.6ポイント上昇し、プラス値となった。

1. 景況DI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年 見通し
農業全体	▲ 33.7	16.8	20.0	21.2	▲ 11.1	6.0	▲ 24.9	▲ 29.6	▲ 39.1	▲ 26.9	10.5	7.6
稲作(北海道)	▲ 67.2	20.1	▲ 4.9	39.7	▲ 51.8	26.5	▲ 3.6	▲ 55.2	▲ 44.3	▲ 49.3	64.8	15.9
稲作(都府県)	▲ 71.0	▲ 3.8	23.6	10.3	▲ 10.7	11.4	▲ 33.4	▲ 55.9	▲ 39.5	▲ 22.1	50.8	31.6
畑作	▲ 5.3	35.2	▲ 17.6	34.8	▲ 22.7	31.6	▲ 32.3	0.2	▲ 31.8	▲ 49.2	▲ 29.0	▲ 23.4
露地野菜	▲ 15.7	14.3	14.7	7.5	▲ 3.4	▲ 9.3	▲ 32.8	▲ 21.4	▲ 15.5	▲ 17.5	7.3	5.1
施設野菜	▲ 8.4	20.3	26.3	15.0	▲ 1.4	▲ 22.4	▲ 28.1	▲ 32.3	▲ 28.8	▲ 11.7	5.1	7.3
茶	▲ 55.0	▲ 53.1	11.1	26.5	▲ 14.5	▲ 53.1	▲ 78.0	▲ 0.9	▲ 15.5	▲ 31.2	▲ 3.0	6.0
果樹	▲ 12.7	11.5	25.6	21.8	20.6	7.5	▲ 16.8	11.9	▲ 7.7	▲ 2.7	▲ 4.1	19.2
施設花き	▲ 34.4	▲ 5.9	11.8	▲ 10.6	▲ 13.7	▲ 20.2	▲ 40.2	5.8	▲ 3.2	▲ 19.5	▲ 36.5	▲ 5.0
きのこ	▲ 20.7	15.2	1.1	▲ 2.5	▲ 21.0	▲ 23.2	3.0	▲ 40.8	▲ 59.8	▲ 7.7	4.8	1.6
酪農(北海道)	▲ 4.1	55.9	57.6	44.8	25.0	30.3	▲ 19.3	▲ 32.8	▲ 87.7	▲ 56.8	▲ 28.2	▲ 16.9
酪農(都府県)	▲ 30.9	29.3	52.2	12.6	2.5	8.4	▲ 16.4	▲ 39.5	▲ 84.8	▲ 45.7	▲ 29.7	▲ 15.5
肉用牛	▲ 1.2	48.5	50.3	17.5	4.7	▲ 0.2	▲ 43.9	▲ 3.1	▲ 62.0	▲ 52.1	▲ 37.7	▲ 9.5
養豚	67.5	48.8	26.2	59.4	▲ 27.2	▲ 4.1	44.3	▲ 36.4	▲ 74.2	▲ 31.7	4.7	1.9
採卵鶏	28.6	71.0	40.8	32.7	▲ 61.2	▲ 38.9	▲ 43.8	22.6	▲ 65.4	65.1	▲ 41.2	8.4
ブロイラー	10.4	51.9	27.4	55.3	15.9	14.7	6.4	▲ 2.1	▲ 41.1	▲ 14.7	▲ 28.7	▲ 26.4

※景況DIは農業経営が「良くなった・良くなる」とする構成比(%)から「悪くなった・悪くなる」とする構成比(%)を差し引いたもの

2. 収支DI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
農業全体	▲ 39.7	14.2	16.7	14.7	▲ 20.1	▲ 1.5	▲ 27.6	▲ 35.1	▲ 43.1	▲ 32.1	7.5
稲作(北海道)	▲ 72.4	21.3	▲ 13.7	43.0	▲ 63.3	17.9	▲ 1.8	▲ 57.6	▲ 50.3	▲ 51.0	66.7
稲作(都府県)	▲ 76.7	▲ 6.5	23.8	2.2	▲ 18.8	4.5	▲ 38.5	▲ 60.5	▲ 43.5	▲ 29.1	50.1
畑作	▲ 13.8	33.9	▲ 24.7	28.1	▲ 27.5	29.0	▲ 37.4	▲ 3.0	▲ 36.5	▲ 54.3	▲ 34.0
露地野菜	▲ 23.6	5.7	13.1	▲ 0.9	▲ 14.8	▲ 18.4	▲ 36.9	▲ 27.3	▲ 19.8	▲ 24.9	0.2
施設野菜	▲ 19.5	15.3	20.3	5.6	▲ 11.8	▲ 27.2	▲ 29.2	▲ 39.3	▲ 34.6	▲ 17.4	▲ 3.4
茶	▲ 59.0	▲ 52.4	8.1	25.8	▲ 16.1	▲ 54.0	▲ 76.3	▲ 5.4	▲ 22.1	▲ 40.7	▲ 2.9
果樹	▲ 20.3	6.3	19.3	12.0	7.4	▲ 4.9	▲ 25.3	4.9	▲ 13.2	▲ 13.8	▲ 9.1
施設花き	▲ 39.2	▲ 8.1	9.1	▲ 24.6	▲ 22.0	▲ 22.3	▲ 38.2	7.3	▲ 11.2	▲ 25.2	▲ 41.4
きのこ	▲ 17.1	11.4	▲ 1.0	▲ 3.8	▲ 24.7	▲ 30.5	4.4	▲ 46.3	▲ 57.3	▲ 3.8	3.2
酪農(北海道)	▲ 12.6	55.5	57.0	36.8	7.4	17.6	▲ 24.3	▲ 45.9	▲ 86.3	▲ 58.6	▲ 33.8
酪農(都府県)	▲ 34.3	25.4	48.4	1.7	▲ 3.3	▲ 3.6	▲ 14.5	▲ 45.9	▲ 86.7	▲ 45.2	▲ 32.4
肉用牛	▲ 7.6	50.8	48.6	7.0	▲ 4.1	▲ 7.3	▲ 48.4	▲ 12.3	▲ 64.4	▲ 55.7	▲ 40.7
養豚	69.9	50.2	19.1	57.9	▲ 34.9	▲ 7.8	47.0	▲ 43.1	▲ 66.0	▲ 30.7	14.7
採卵鶏	31.3	63.0	44.8	31.9	▲ 62.8	▲ 46.0	▲ 40.6	14.7	▲ 68.3	58.5	▲ 46.3
ブロイラー	6.0	42.3	29.1	55.3	4.3	5.4	8.9	▲ 5.2	▲ 44.2	▲ 22.4	▲ 30.1

※収支DIは収支実績が「良くなった」とする構成比(%)から「悪くなった」とする構成比(%)を差し引いたもの

農業の景況(天気図)

調査様式

農業経営の業況は

1:良くなった 2:変わらない 3:悪くなった

今年(令和7年)の経営見通しは

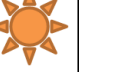
1:良くなる 2:変わらない 3:悪くなる

(注1) DI(Diffusion Index = 動向指数)について
DIは、前年と比較して、「良くなった」の構成比から「悪くなった」の構成比を差し引いたもの。

(注2) DI値に2.5以上の差異がある場合は
上向き又は下向き矢印。2.4以内の場合は
平行矢印。

(凡例)

 ≤ -50 <  ≤ -20 <  ≤ -5

-5 <  < 5 ≤  < 20 ≤ 

業種	令和5年 実績		令和6年 実績		令和7年 見通し
農業全体	 ▲ 26.9	➡	 10.5	➡	 7.6
稲作(北海道)	 ▲ 49.3	➡	 64.8	➡	 15.9
稲作(都府県)	 ▲ 22.1	➡	 50.8	➡	 31.6
畑作	 ▲ 49.2	➡	 ▲ 29.0	➡	 ▲ 23.4
露地野菜	 ▲ 17.5	➡	 7.3	➡	 5.1
施設野菜	 ▲ 11.7	➡	 5.1	➡	 7.3
茶	 ▲ 31.2	➡	 ▲ 3.0	➡	 6.0
果樹	 ▲ 2.7	➡	 ▲ 4.1	➡	 19.2

業種	令和5年 実績		令和6年 実績		令和7年 見通し
施設花き	 ▲ 19.5	➡	 ▲ 36.5	➡	 ▲ 5.0
きのこ	 ▲ 7.7	➡	 4.8	➡	 1.6
酪農(北海道)	 ▲ 56.8	➡	 ▲ 28.2	➡	 ▲ 16.9
酪農(都府県)	 ▲ 45.7	➡	 ▲ 29.7	➡	 ▲ 15.5
肉用牛	 ▲ 52.1	➡	 ▲ 37.7	➡	 ▲ 9.5
養豚	 ▲ 31.7	➡	 4.7	➡	 1.9
採卵鶏	 65.1	➡	 ▲ 41.2	➡	 8.4
ブロイラー	 ▲ 14.7	➡	 ▲ 28.7	➡	 ▲ 26.4

農業の景況(資金繰りDI、販売単価DI)

- ・令和6年の資金繰りDI (▲26.4→▲0.7)は令和5年実績から25.7ポイント上昇した。業種別では特に稲作(北海道:▲38.4→41.5、都府県:▲24.9→34.9)で大幅なプラス値となった。
- ・令和7年見通し(▲0.7→▲9.2)は令和6年実績から8.5ポイント低下し、マイナス値が再び拡大する見込み。
- ・令和6年の販売単価DI(10.6→47.2)は令和5年実績から36.6ポイント上昇し、プラス値が拡大した。業種別では特に稲作(北海道:16.4→85.9、都府県:23.1→89.1)、養豚(19.2→62.7)で大幅なプラス値となった。

3. 資金繰りDI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年 見通し
農業全体	▲ 29.2	7.6	15.5	15.5	▲ 4.7	0.4	▲ 16.3	▲ 24.7	▲ 37.2	▲ 26.4	▲ 0.7	▲ 9.2
稲作(北海道)	▲ 52.4	8.2	▲ 2.5	23.8	▲ 30.4	7.9	▲ 1.5	▲ 40.4	▲ 40.4	▲ 38.4	41.5	8.6
稲作(都府県)	▲ 59.2	▲ 10.7	13.5	7.3	▲ 5.9	4.9	▲ 22.0	▲ 41.6	▲ 34.6	▲ 24.9	34.9	16.0
畑作	▲ 10.4	19.9	▲ 3.3	23.3	▲ 5.3	14.7	▲ 15.4	▲ 3.7	▲ 26.6	▲ 37.5	▲ 31.6	▲ 32.5
露地野菜	▲ 14.2	2.3	14.2	2.7	▲ 6.4	▲ 13.5	▲ 27.6	▲ 21.3	▲ 22.6	▲ 22.8	▲ 10.3	▲ 17.2
施設野菜	▲ 10.6	16.0	19.8	11.5	0.8	▲ 19.3	▲ 25.2	▲ 31.0	▲ 33.7	▲ 18.9	▲ 10.3	▲ 16.4
茶	▲ 43.7	▲ 41.3	4.3	20.2	▲ 8.0	▲ 40.5	▲ 48.3	▲ 5.3	▲ 27.8	▲ 23.9	▲ 11.8	▲ 13.8
果樹	▲ 14.8	1.4	14.7	8.6	8.9	2.0	▲ 11.8	4.2	▲ 13.5	▲ 10.8	▲ 14.7	▲ 12.6
施設花き	▲ 34.4	▲ 6.8	7.3	▲ 5.9	▲ 6.9	▲ 15.2	▲ 32.9	7.3	▲ 18.6	▲ 25.3	▲ 35.4	▲ 21.5
きのこ	▲ 29.3	10.1	1.0	7.5	▲ 24.7	▲ 29.0	▲ 6.0	▲ 24.7	▲ 64.6	▲ 20.5	▲ 1.6	▲ 6.4
酪農(北海道)	▲ 6.3	39.2	45.7	36.3	21.1	24.9	▲ 12.0	▲ 30.3	▲ 75.6	▲ 48.1	▲ 40.1	▲ 33.8
酪農(都府県)	▲ 26.2	26.5	42.1	16.4	5.4	1.6	▲ 6.7	▲ 41.9	▲ 80.6	▲ 42.2	▲ 34.8	▲ 32.6
肉用牛	▲ 6.1	27.8	34.6	16.9	8.7	0.7	▲ 25.6	▲ 8.4	▲ 55.4	▲ 43.9	▲ 37.4	▲ 27.6
養豚	59.3	45.0	32.4	55.6	▲ 7.1	2.3	37.7	▲ 24.5	▲ 61.4	▲ 28.5	2.3	▲ 11.8
採卵鶏	26.8	56.0	44.8	31.1	▲ 30.2	▲ 28.6	▲ 32.3	15.6	▲ 47.5	59.3	▲ 25.3	▲ 5.1
ブロイラー	3.0	38.5	29.1	50.0	27.6	17.4	5.0	1.1	▲ 30.5	▲ 15.8	▲ 30.2	▲ 38.9

※資金繰りDIは資金繰りが「楽になった」とする構成比(%)から「厳しくなった(苦しなった)」とする構成比(%)を差し引いたもの

4. 販売単価DI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
農業全体	▲ 40.0	13.1	26.1	24.3	2.1	▲ 6.9	▲ 42.2	▲ 42.6	▲ 6.4	10.6	47.2
稲作(北海道)	▲ 88.6	10.1	19.9	54.4	▲ 5.9	▲ 2.4	▲ 48.3	▲ 83.5	▲ 15.7	16.4	85.9
稲作(都府県)	▲ 88.2	7.0	33.4	36.0	16.9	13.4	▲ 64.9	▲ 83.9	▲ 6.5	23.1	89.1
畑作	▲ 30.5	▲ 15.4	▲ 3.5	▲ 2.1	▲ 1.9	▲ 8.6	▲ 57.5	▲ 15.5	▲ 11.2	▲ 22.8	▲ 1.1
露地野菜	▲ 33.5	▲ 10.0	16.5	▲ 7.8	0.8	▲ 43.1	▲ 42.2	▲ 29.4	▲ 8.5	8.7	41.5
施設野菜	▲ 32.8	▲ 0.6	26.0	8.7	▲ 11.6	▲ 31.2	▲ 34.4	▲ 43.1	▲ 5.9	8.3	51.5
茶	▲ 64.0	▲ 59.4	▲ 1.3	18.1	▲ 41.1	▲ 63.5	▲ 78.0	▲ 5.3	▲ 16.4	▲ 23.0	6.9
果樹	▲ 25.4	10.9	34.9	28.0	15.0	15.7	3.1	16.5	11.4	30.1	55.6
施設花き	▲ 47.0	▲ 15.4	7.3	▲ 28.6	▲ 23.3	▲ 25.3	▲ 48.0	15.2	34.6	20.7	35.4
きのこ	▲ 22.0	▲ 6.4	▲ 18.2	▲ 11.3	▲ 39.6	▲ 46.4	▲ 4.5	▲ 55.6	0.0	38.4	60.3
酪農(北海道)	59.3	85.9	79.3	67.8	47.6	33.0	▲ 37.8	▲ 53.2	▲ 62.7	12.4	16.6
酪農(都府県)	23.0	61.7	50.7	14.4	17.6	34.2	▲ 23.7	▲ 36.5	2.9	40.3	14.2
肉用牛	46.4	85.8	76.4	17.1	20.4	▲ 21.5	▲ 62.6	▲ 4.3	▲ 45.1	▲ 52.9	▲ 33.1
養豚	84.1	26.9	▲ 15.1	63.6	▲ 55.0	▲ 24.5	52.8	▲ 21.8	36.9	19.2	62.7
採卵鶏	53.6	74.0	▲ 12.0	1.7	▲ 66.7	▲ 53.2	▲ 57.5	32.0	83.9	83.6	▲ 7.6
ブロイラー	10.4	28.8	▲ 9.7	37.5	▲ 11.6	▲ 28.3	5.1	▲ 1.0	15.8	10.5	▲ 2.8

※販売単価DIは生産物の販売価格が「上昇した」とする構成比(%)から「下落した」とする構成比(%)を差し引いたもの

農業の景況(生産コストDI、雇用状況DI)

- ・令和6年の生産コストDI(▲84.6→▲79.4)は令和5年実績から5.2ポイント上昇したものの、大幅なマイナス値が継続。業種別でも、全業種で大幅なマイナス値となった。
- ・令和6年の雇用状況DI(▲37.6→▲37.4)は令和5年実績から横ばいとなり、マイナス値が継続。

5. 生産コストDI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
農業全体	▲ 66.3	▲ 44.7	▲ 19.1	▲ 25.2	▲ 37.1	▲ 38.8	▲ 36.2	▲ 68.1	▲ 88.3	▲ 84.6	▲ 79.4
稲作(北海道)	▲ 69.0	▲ 44.1	▲ 24.2	▲ 18.8	▲ 36.9	▲ 40.4	▲ 33.7	▲ 67.5	▲ 89.6	▲ 90.6	▲ 79.0
稲作(都府県)	▲ 53.2	▲ 36.5	▲ 11.5	▲ 11.2	▲ 18.2	▲ 19.3	▲ 30.8	▲ 56.3	▲ 82.7	▲ 80.3	▲ 72.9
畑作	▲ 78.2	▲ 63.7	▲ 32.6	▲ 28.4	▲ 38.5	▲ 45.6	▲ 41.5	▲ 63.2	▲ 88.5	▲ 90.5	▲ 85.9
露地野菜	▲ 67.5	▲ 56.8	▲ 28.9	▲ 40.0	▲ 46.3	▲ 53.1	▲ 44.7	▲ 67.9	▲ 90.2	▲ 85.9	▲ 87.0
施設野菜	▲ 63.4	▲ 41.0	▲ 26.5	▲ 39.9	▲ 49.0	▲ 57.6	▲ 46.0	▲ 78.9	▲ 88.7	▲ 85.2	▲ 86.9
茶	▲ 72.5	▲ 30.1	▲ 11.1	▲ 32.2	▲ 46.7	▲ 51.6	▲ 25.4	▲ 71.7	▲ 86.0	▲ 85.4	▲ 77.2
果樹	▲ 67.0	▲ 48.4	▲ 31.3	▲ 37.3	▲ 39.0	▲ 48.1	▲ 40.2	▲ 55.1	▲ 83.2	▲ 81.5	▲ 85.8
施設花き	▲ 72.8	▲ 33.5	▲ 21.9	▲ 48.6	▲ 53.5	▲ 55.7	▲ 40.2	▲ 87.0	▲ 93.1	▲ 91.2	▲ 95.6
きのこ	▲ 74.4	▲ 43.0	▲ 22.4	▲ 28.8	▲ 59.2	▲ 56.6	▲ 44.8	▲ 76.5	▲ 91.5	▲ 87.2	▲ 96.8
酪農(北海道)	▲ 80.4	▲ 46.4	▲ 4.9	▲ 35.2	▲ 48.2	▲ 37.1	▲ 45.4	▲ 81.0	▲ 95.1	▲ 88.5	▲ 85.4
酪農(都府県)	▲ 83.6	▲ 46.6	▲ 0.7	▲ 32.9	▲ 40.4	▲ 46.6	▲ 38.5	▲ 81.4	▲ 95.6	▲ 75.2	▲ 67.5
肉用牛	▲ 81.9	▲ 63.1	▲ 37.3	▲ 41.3	▲ 46.7	▲ 37.4	▲ 30.9	▲ 80.8	▲ 91.7	▲ 87.3	▲ 75.6
養豚	▲ 59.8	▲ 17.7	16.9	12.1	▲ 37.0	▲ 24.7	▲ 19.1	▲ 85.7	▲ 97.5	▲ 79.2	▲ 54.3
採卵鶏	▲ 78.6	▲ 32.0	11.2	▲ 12.0	▲ 49.6	▲ 46.9	▲ 41.7	▲ 83.4	▲ 93.5	▲ 83.7	▲ 74.8
ブロイラー	▲ 59.7	▲ 44.2	▲ 4.8	▲ 16.1	▲ 23.2	▲ 28.0	▲ 20.3	▲ 63.2	▲ 88.4	▲ 77.8	▲ 74.0

※生産コストDIは生産の費用(コスト)が「下がった」とする構成比(%)から「上がった(コスト増)」とする構成比(%)を差し引いたもの

6. 雇用状況DI

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
農業全体	-	▲ 26.3	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 34.7	▲ 34.9	▲ 32.0	▲ 35.6	▲ 37.0	▲ 37.6	▲ 37.4
稲作(北海道)	-	▲ 26.7	▲ 35.6	▲ 39.0	▲ 41.2	▲ 36.9	▲ 38.4	▲ 36.4	▲ 40.8	▲ 39.7	▲ 38.5
稲作(都府県)	-	▲ 18.8	▲ 27.3	▲ 27.8	▲ 27.6	▲ 29.5	▲ 28.4	▲ 29.7	▲ 36.0	▲ 37.5	▲ 41.8
畑作	-	▲ 33.6	▲ 40.8	▲ 45.0	▲ 40.9	▲ 42.7	▲ 37.5	▲ 41.2	▲ 41.4	▲ 40.9	▲ 38.9
露地野菜	-	▲ 34.9	▲ 41.5	▲ 43.4	▲ 36.7	▲ 38.2	▲ 36.2	▲ 39.0	▲ 36.8	▲ 35.5	▲ 35.9
施設野菜	-	▲ 24.1	▲ 30.8	▲ 33.0	▲ 30.9	▲ 30.1	▲ 24.9	▲ 34.6	▲ 29.8	▲ 33.4	▲ 28.6
茶	-	▲ 26.6	▲ 30.8	▲ 37.7	▲ 40.7	▲ 39.5	▲ 29.7	▲ 36.3	▲ 36.2	▲ 36.1	▲ 36.4
果樹	-	▲ 25.6	▲ 32.0	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 36.0	▲ 31.6	▲ 37.4	▲ 41.8	▲ 43.0	▲ 41.4
施設花き	-	▲ 26.8	▲ 31.6	▲ 34.4	▲ 31.8	▲ 29.9	▲ 26.7	▲ 41.0	▲ 31.4	▲ 28.9	▲ 22.2
きのこ	-	▲ 26.6	▲ 37.6	▲ 41.2	▲ 42.0	▲ 42.0	▲ 34.9	▲ 49.4	▲ 40.7	▲ 45.5	▲ 42.8
酪農(北海道)	-	▲ 40.4	▲ 45.0	▲ 52.5	▲ 44.1	▲ 38.7	▲ 31.9	▲ 42.1	▲ 39.8	▲ 38.5	▲ 42.9
酪農(都府県)	-	▲ 25.8	▲ 28.0	▲ 27.6	▲ 26.3	▲ 35.3	▲ 27.5	▲ 35.9	▲ 31.7	▲ 34.3	▲ 31.7
肉用牛	-	▲ 24.7	▲ 28.7	▲ 34.3	▲ 32.4	▲ 32.9	▲ 33.2	▲ 31.6	▲ 33.4	▲ 37.4	▲ 34.3
養豚	-	▲ 35.6	▲ 44.5	▲ 44.3	▲ 32.7	▲ 29.8	▲ 26.3	▲ 36.0	▲ 35.3	▲ 34.6	▲ 32.3
採卵鶏	-	▲ 31.0	▲ 43.2	▲ 47.4	▲ 41.1	▲ 38.9	▲ 33.3	▲ 41.8	▲ 47.6	▲ 42.3	▲ 43.2
ブロイラー	-	▲ 15.4	▲ 21.4	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 37.4	▲ 21.8	▲ 34.7	▲ 29.8	▲ 32.3	▲ 28.7

※雇用状況DIは雇用状況の実績が「過剰である」とする構成比(%)から「不足である」とする構成比(%)を差し引いたもの

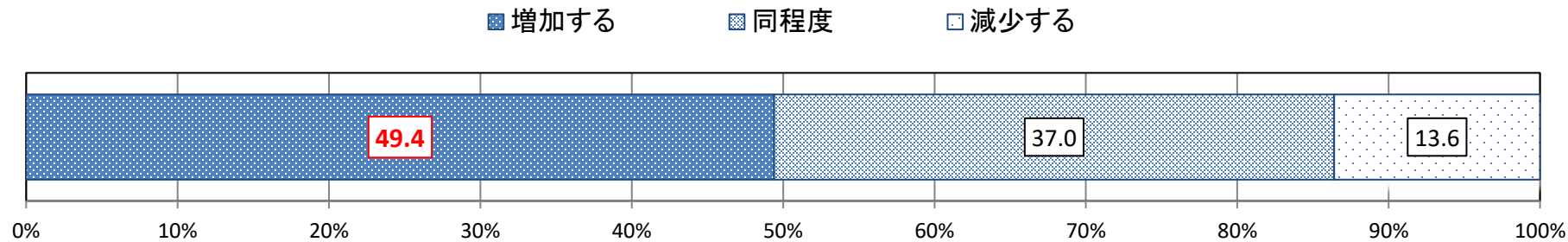
農業の景況(設備投資ありの比率、設備投資額)

- ・令和7年に「設備投資予定あり」とする比率(48.9%→52.0%)は、令和6年から3.1ポイント上昇した。
- ・業種別にみると、耕種では稲作(都府県:64.6%)、畜産では養豚(56.7%)が最も高くなった。
- ・酪農(北海道:37.5%)、肉用牛(33.0%)は4割を下回り、他業種に比べて低くなった。
- ・「設備投資予定あり」と回答した先のうち、49.4%が昨年に比べ設備投資額が「増加する」と回答している。

7. 設備投資予定ありの比率 【単位:%】

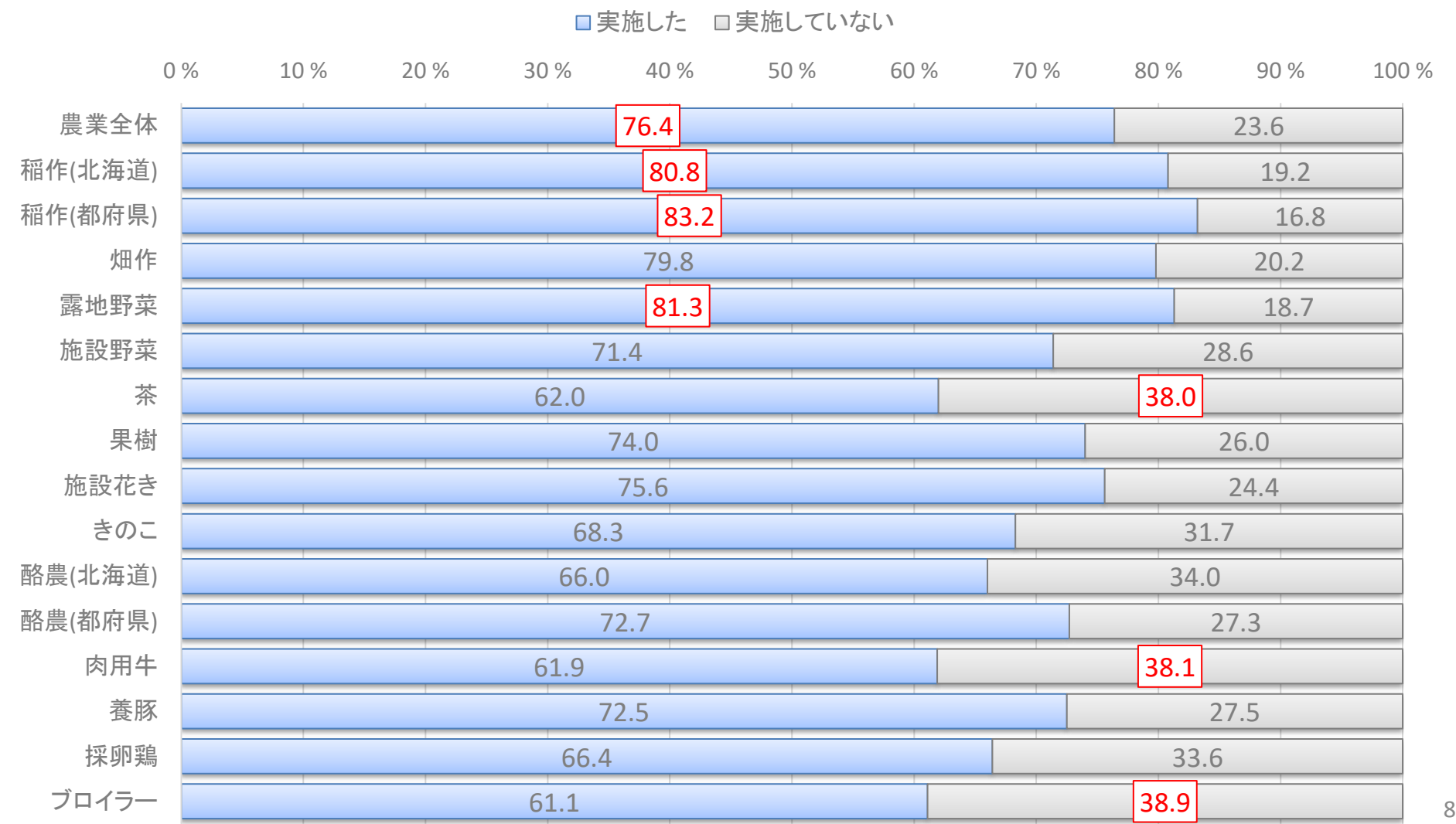
	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
農業全体	39.5	34.5	43.6	51.8	46.6	44.3	44.3	46.1	46.3	45.0	48.9	52.0
稲作(北海道)	39.7	26.1	44.1	48.6	45.2	41.0	43.2	42.3	41.1	44.0	46.8	57.5
稲作(都府県)	46.1	32.5	45.1	53.5	49.8	47.0	49.1	51.2	49.1	51.7	54.4	64.6
畑作	37.6	37.2	50.1	54.1	53.2	49.7	53.1	52.7	54.0	49.1	51.7	51.4
露地野菜	41.1	34.8	41.9	50.8	44.6	43.8	38.1	43.1	43.2	43.8	52.6	50.9
施設野菜	35.8	34.6	38.6	46.3	40.2	38.0	33.3	35.7	38.2	37.8	46.6	47.2
茶	32.2	30.3	28.2	45.7	40.5	40.7	31.2	35.1	36.6	40.5	40.6	46.0
果樹	33.6	31.7	38.2	45.5	33.5	35.2	34.2	42.4	49.0	49.5	51.5	47.2
施設花き	27.7	26.3	28.1	41.1	30.8	28.8	35.4	38.4	45.5	45.2	46.6	44.9
きのこ	43.0	36.6	44.9	47.3	43.2	51.9	36.8	50.7	56.8	43.2	51.9	55.6
酪農(北海道)	27.8	36.4	42.0	53.7	46.1	44.3	43.7	40.8	38.6	33.2	34.5	37.5
酪農(都府県)	35.9	42.8	38.3	58.0	49.4	48.4	42.2	45.1	44.6	32.3	41.8	42.9
肉用牛	36.5	41.1	49.9	56.8	46.2	45.1	48.5	42.0	48.6	40.4	37.9	33.0
養豚	49.3	55.9	54.4	62.1	58.0	45.5	50.2	54.0	51.2	45.6	56.9	56.7
採卵鶏	39.8	46.5	54.0	61.3	61.2	44.2	52.4	56.8	44.7	48.8	48.4	41.5
ブロイラー	38.8	47.8	55.8	59.7	51.8	55.1	58.7	49.4	49.0	34.7	38.9	45.8

8. 昨年と比べた今年の設備投資額の見込み(「設備投資予定あり」と回答した先)



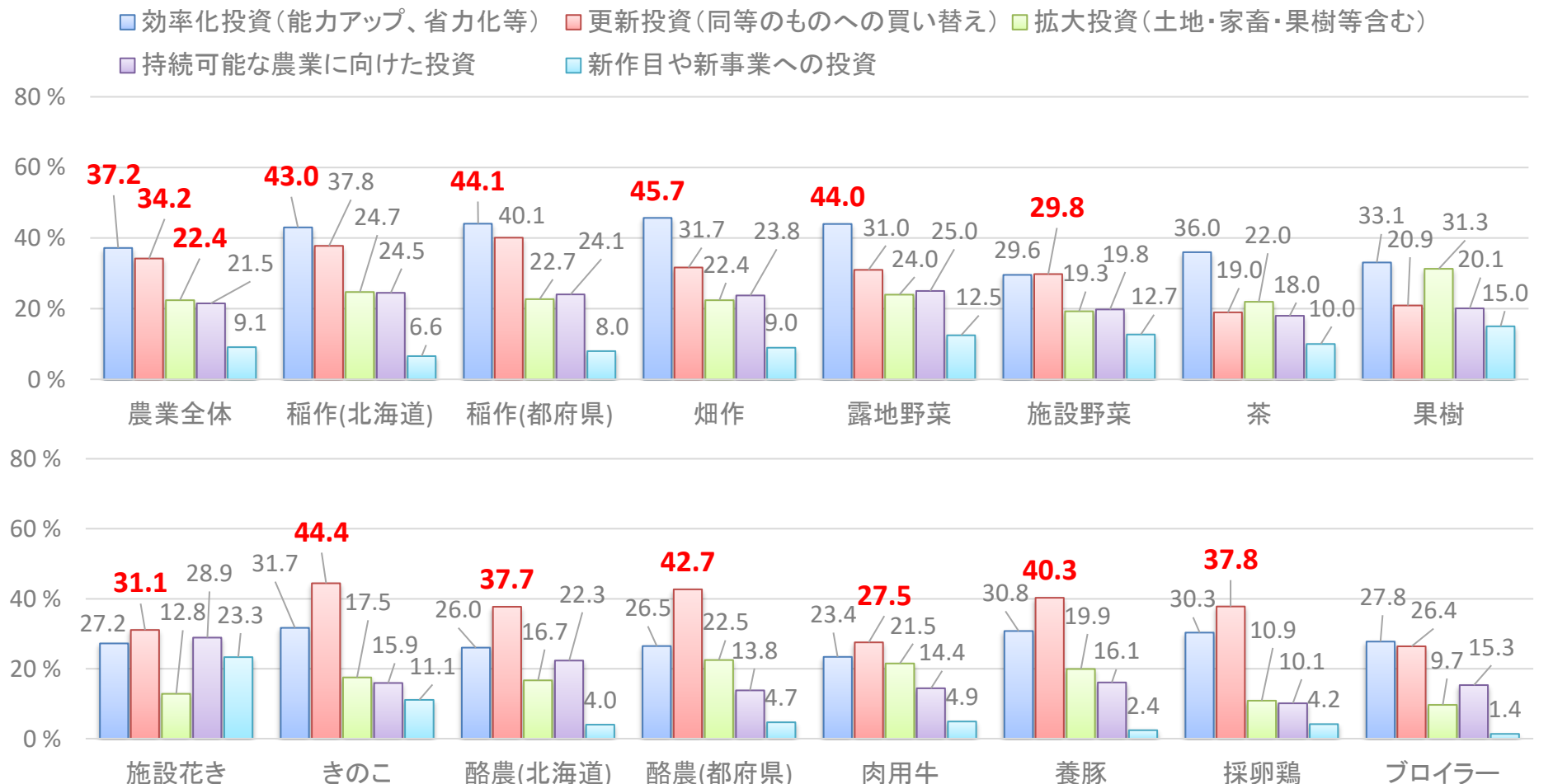
農業の景況(令和6年の設備投資実施状況)

- ・農業全体では「実施した」が76.4%と8割近くを占めた。
- ・業種別では、稲作(北海道:80.8%、都府県:83.2%)、露地野菜(81.3%)で特に高く、8割超となった。
- ・「実施していない」は、ブロイラー(38.9%)、肉用牛(38.1%)、茶(38.0%)で高くなった。



農業の景況(令和6年に実施した設備投資の種類)

- ・農業全体では「効率化投資」(37.2%)が最も高く、次いで「更新投資」(34.2%)、「拡大投資」(22.4%)となった。
- ・業種別では、「効率化投資」は、稲作(北海道:43.0%、都府県:44.1%)、畑作(45.7%)、露地野菜(44.0%)などの土地利用型の業種で高くなった。
- ・「更新投資」は、施設野菜(29.8%)、施設花き(31.1%)、きのこ(44.4%)、酪農(北海道:37.7%、都府県:42.7%)、肉用牛(27.5%)、養豚(40.3%)、採卵鶏(37.8%)で高くなった。



農業の景況(令和7年に実施する予定の設備投資の種類)

- ・農業全体では「効率化投資」(55.1%)が最も高く、次いで「更新投資」(44.2%)、「拡大投資」(29.5%)となった。
- ・業種別では、「効率化投資」は、全ての業種で、令和6年に実施した割合よりも高くなった。
- ・「更新投資」は、酪農(北海道:51.4%)、養豚(54.7%)で高く、半数超となった。
- ・「拡大投資」は、業種別では肉用牛(44.2%)、果樹(37.7%)で高くなった。

